

浄化槽機能実地審査要領

(目的)

第1条 本要領は、浄化槽整備事業等に係る浄化槽登録要領第5条第2項に定めた登録簿に登録された浄化槽(以下「登録浄化槽」という。)について、浄化槽登録要領施行細則第7条により選定された浄化槽が、厚生省の定める合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針(以下「指針」という。)に適合しているか否かについて判定するための必要な事項を定めることを目的とする。

(実施機関)

第2条 全国浄化槽推進市町村協議会会長(以下「会長」という。)は、実地審査に係る事務を浄化槽の機能に関する知識及び経験を有する機関に委託することができる。

(審査対象浄化槽の選定)

第3条 浄化槽登録要領施行細則第7条により選定された登録浄化槽は、原則として20施設(登録の有効期間が5年のものにあつては、10施設)とし、地域的なバランスを考慮して選定するものとする。

(市町村への通知)

第4条 会長は、審査対象浄化槽の所在する市町村長に、審査の実施について通知するものとする。

- 2 会長は、審査対象浄化槽の設置者に対する協力依頼など、実地審査の円滑な実施について、市町村に協力を求めることができる。
- 3 会長は、第1項の市町村長に審査の結果を通知するものとする。
- 4 審査対象浄化槽の所在する市町村の職員は、実地審査に立ち会うことができるものとする。

(実地審査の方法)

第5条 実地審査は、審査対象浄化槽について、登録有効期間内に2回実施するものとし、1回目については、審査対象浄化槽の使用開始後、概ね8ヵ月から10ヵ月後を目途に、また2回目については、1回目の審査後、概ね6ヵ月後を目途に実施するものとする。

- 2 実地審査は、別紙の審査票により行うものとする。
- 3 実地審査を実施する機関は、あらかじめ審査対象浄化槽の設置者に実地審査を実施する日時等を連絡するものとする。

(審査結果の報告)

第6条 会長は、実地審査の結果を浄化槽登録審査専門委員会(以下「委員会」という。)に提出するものとする。

2 委員会は、前項により提出された報告をもとに審査対象浄化槽となった浄化槽が指針に適合しているか否かについて審査を行い、その結果を会長に報告するものとする。

(実施規定)

第7条 この要領に定めるもののほか実地審査に関する必要な事項は、会長が別に定める。

附 則
この要領は、平成4年12月1日より施行する。

附 則
この要領は、平成17年4月1日より施行する。

附 則
この要領は、平成20年11月27日より施行する。

別 紙（第 4 条関係）

実地審査の審査票

（1）施設の概要

メーカー名		製品の名称	
型式認定番号			
処理方式	分離接触ばっ気方式、嫌気ろ床接触ばっ気方式 その他（ ）		
設置者		管理者	
設置場所			
浄化槽竣工年月	年 月 日	浄化槽使用開始日	年 月 日
建物の竣工年月日	年 月 日	処理対象人員	人
実使用人員	人（家族構成：男 人、女 人）		
上水使用量	平均 （測定期間	m ³ /日 ）	・上水道 ・自家井戸 ・併用
保守点検の契約の有無	・有（業者名 ・無		
保守点検の回数	回/年（ カ月に1回）		
前回の保守点検日	年 月 日		
清掃の契約の有無	・有（業者名 ・無		
総清掃回数	回（前回の清掃日： 年 月 日）		
前回の清掃汚泥量	m ³		

（2）施工状況

流入管渠の長さ	m	流入管渠の升数	個（構造）
浄化槽内への雨水の流入	有・無		
原水ポンプ槽の有無	・有（型式認定品 （ポンプの数： ・無		
マンホール等の嵩上げ	有（ cm）・無		
臭突の有無	有・無（その他の脱臭方法）		
送気管の長さ	m		
放流ポンプ槽の有無	・有（ W m × L m × H m) （ポンプの数： ・無		
放流先	・敷地外放流（道路側溝、用排水路、その他） ・敷地内浸透、その他（		

(3) 浄化槽内部の状況の確認

項目	異常有無	異常内容	写真
マンホール等から目視できる槽内の広さ	有・無		
マンホール等の枠から弁類や薬剤筒までの距離	有・無		
水準目安線などの形状及び位置槽の水平の狂い	有・無		
弁類の色分け及び構造	有・無		
ラベルの表示内容及び取り付け位置	有・無		
空気配管及び汚泥配管の位置及び支持方法	有・無		
各単位装置の流入部及び流出部の形状	有・無		
各単位装置の有効水深	有・無		
流入管渠内の汚水の逆流あるいはその形跡	有・無		
槽壁・隔壁の変形または破損	有・無		
臭突口の下端から水面までの距離	有・無		
嫌気ろ床槽について			
a. 各室の平面形状	有・無		
b. 第1室の流入管底から水面までの距離	有・無		
c. 各室内の水位の異常な上昇またはその形跡	有・無		
d. 各室の流出管上端開口部から水面までの距離	有・無		
e. バッフルの形状及び位置	有・無		
f. 各室のろ材押さえの変形または破損	有・無		
g. 各室のろ材の浮上または沈下	有・無		
h. 各室のろ材の変形または破損	有・無		
i. 各室の支持構造体の変形または破損	有・無		
j. 各室の清掃孔の形状及び位置	有・無		
接触ばっ気槽について			
a. 各室の接触材押さえの変形または破損	有・無		
b. 各室の接触材の浮上または沈下	有・無		
c. 各室の支持構造体の変形または破損	有・無		
d. 各室内の水位の異常な上昇またはその形跡	有・無		
e. 各室内水の流れの状況及び散気管上部の水位の盛り上がりの状況	有・無		

f . 散気装置の位置及び支持方法	有・無		
g . 逆洗装置への空気配管	有・無		
h . 弁類の操作方法を図示したラベルの取り付け位置及びその内容	有・無		
i . 汚泥移送用ポンプや汚泥移送管の形状及び位置	有・無		
j . 汚泥移送管の吐出側開口部の閉塞またはその形跡	有・無		
k . 汚泥移送管の隔壁貫通部分の構造	有・無		
l . 汚泥移送管の隔壁貫通部分からの室内水等の越流またはその形跡	有・無		
m . 嫌気ろ床槽第 1 室内あるいは沈殿分離槽第 1 室の浮上物または室内水の汚泥移送管経由での接触ばっ気槽への移流またはその形跡	有・無		
n . 汚泥移送管途中の清掃孔の形状及び位置	有・無		
o . エアリフトポンプの上部の空気逃がしの形状及び位置	有・無		
p . エアリフトポンプへの空気配管	有・無		
q . 各室の汚泥引出し管の形状及び位置	有・無		
r . 汚泥引出し管の上端開口部から水面までの距離	有・無		
s . 汚泥引出し管の上端開口部までの槽内水の上昇またはその形跡	有・無		
沈殿槽について			
a . 越流ぜきの形状及び位置	有・無		
b . 越流ぜきの構造	有・無		
c . 越流ぜきの水平の狂い	有・無		
d . 越流ぜき部分の漏水	有・無		
消毒槽について			
a . 薬剤筒の形状及びその支持方法	有・無		
沈殿分離槽について			
a . 各室の平面形状	有・無		

(4) 稼働状況の確認

項 目		異常 有無	異常 内容	写真
弁類の操作性		有・無		
散気管及びエアリフトポンプへの送気量は容易に調整できるか		有・無		
各単位装置の流入水及び流出水が容易に採取できるか		有・無		
散気管を容易に引き出せるか		有・無		
引き出した散気管を容易に所定の位置に取り付けることができるか		有・無		
汚泥移送装置の汚泥移送量を容易に調整できるか		有・無		
沈殿槽内のスカムが容易に移送できるか		有・無		
薬剤筒の引き出し及び取り付けが容易に行えるか		有・無		
嫌気ろ床槽各室の汚泥分布				
第1室	スカム厚	平均値： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5)		
	清掃孔直下部の槽底部の堆積汚泥厚： cm			
	ろ材押え面上の堆積汚泥厚： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5)			
第2室	スカム厚	平均値： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5)		
	清掃孔直下部の槽底部の堆積汚泥厚： cm			
	ろ材押え面上の堆積汚泥厚： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5)			
嫌気ろ床槽各室流出水の水温、透視度及びpH				
水 温		第1室：	第2室：	第 室：
透視度		第1室： cm	第2室： cm	第 室： cm
pH		第1室：	第2室：	第 室：
接触ばっ気槽内のDO分布		DO分布： mg/ ~ mg/		
測定部位	A	B	C	D
上 部	mg/	mg/	mg/	mg/
中 部	mg/	mg/	mg/	mg/
下 部	mg/	mg/	mg/	mg/
接触ばっ気槽内水の水温、透視度及びpH		水 温：		
		透視度： 度		
		pH：		
汚泥移送装置が稼働している場合、汚泥移送量の実測値		/分		
送風機の吐出風量の実測値		/分 (銘板の値： /分)		
		(風量計の型式名：)		

沈殿槽内のスカムの有無		・有 平均値： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5) ・無	
薬剤筒内の消毒剤の有無		有 (薬剤筒の約 %程度) ・ 無	
放流水の残留塩素濃度		前回の保守点検日からの経過日数は約 日	
放流水の残留塩素濃度		mg/ (測定方法：OT法・DPD法)	
沈殿分離槽内の汚泥分布			
第1室	スカム厚	平均値： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5)	
	槽底部の堆積汚泥	流入部：	cm
		中央部：	cm
		流出部：	cm
第2室	スカム厚	平均値： cm (少量、1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5)	
	槽底部の堆積汚泥	流入部：	cm
		中央部：	cm
		流出部：	cm
沈殿分離槽各室流出水の水温、透視度及びpH			
水温	第1室：	第2室：	第3室：
透視度	第1室： cm	第2室： cm	第3室： cm
pH	第1室：	第2室：	第3室：
放流水質 (沈殿槽流出水質)		BOD： mg/ (採取時刻時 分)	
		透視度： 度	
		pH：	

(5) その他

7条検査	検査日	年 月 日	
	放流水質	BOD	mg/
		pH	
		透視度	度
	判定		
	異常又は機能障害の有無	適・おおむね適・不適	
	有る場合はその項目と内容		
保守点検業者の意見	有 ・ 無		
その内容			
清掃業者の意見	有 ・ 無		
その内容			